

Comic Studioの レイヤー設定

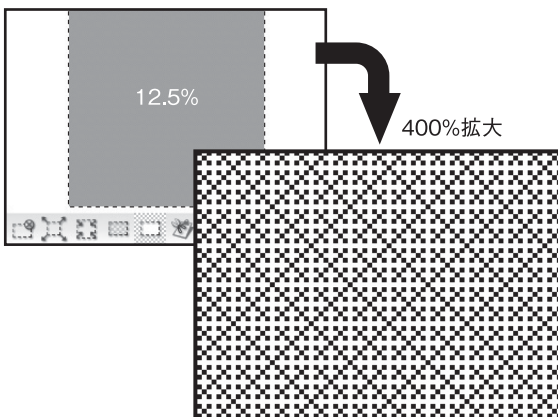
(Comic Studio4 Proの場合)

「コミスタ」の「レイヤー」はプロパティの設定内容が重要です。

Comic StudioはPhotoshop等と異なり、レイヤー毎に表現色(グレー・黒白etc)が設定可能な点が便利な機能ですが、設定によっては印刷に不向きなデータとなる場合もあるので注意が必要です。

1 印刷に不向きな実例

右図は画面の表示倍率を12.5%と400%にしたものです。これは「パターンデザイン」と言い、印刷では点が細かすぎるために点同士の間隔が狭いと「ツブレ」になり、広いと「飛び」が発生して再現性が落ちてしまうので、印刷機によっては非常に不向きなデータです。



2 1の設定検証

図①の「表現色: 黒白(2bit)」とはモノクロ2階調のことです。この設定でレイヤーを濃度33.3%のグレーで塗りつぶした結果が図②になります。

モノクロ2階調なのでグレーの様な中間色は存在しない為、パターンデザインで表現されてしまいます。

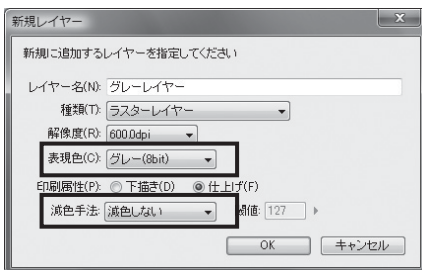
なお、この状態からグレーの塗りに変更する事は出来ないので、グレーで表現したい場合は新規レイヤー作成からの作業となります。



3 レイヤーの設定

グレーで表現したい場合はレイヤーを以下のように設定します。

表現色:グレー (8bit)
減色手法:減色しない



上記の設定でレイヤーを濃度33.3%のグレーで塗りつぶした結果が図③になります。当然ですが、中間色であるグレーがキチンと再現されています。この状態からであれば次項にもありますが、グレーのままはもちろんのこと、トーン化も可能になります。

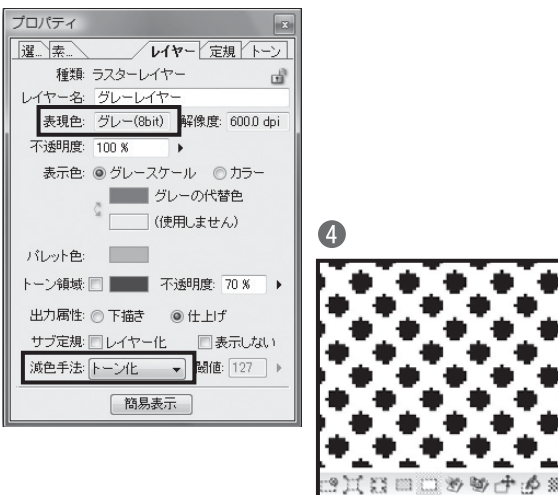
再録本などを出す可能性を考慮して、保存データをこの状態にしておくと、印刷所に入稿する際に拡大縮小でモアレに困ることがなくなりますので、この設定を推奨します。



4 トーンに変換

減色手法を「減色しない」から「トーン化」に変更した例が図④です。線数や角度の変更も可能になっています。

※ただし、グレーにトーンを重ねるとモアレの原因になってしまいますので、重ね貼りを行う際には十分注意してください。



レイヤーの「表現色」設定に注意を!!